

2024 年度 イギリス・チチェスター英語研修 引率報告書

国際交流課 夏目 真衣

1. 概要

2024 年 9 月に、東京経済大学（第 34 回）チチェスターカレッジ英語研修（以下、本研修）を実施した。2020～2021 年度は新型コロナウイルスの影響で開催を中止し、2022 年度に関昭典国際交流委員長が全行程引率、2023 年度に国際交流課ティファニーさんが前半一部に同行した。今回の本研修は、改善の確認のため昨年度に引き続き、研修の前半一部を引率することとなった。

<プログラム概要>

事前オリエンテーション：2024 年 6 月 13 日（木）、6 月 26 日（水）、7 月 30 日（火）

現地研修期間：2024 年 8 月 29 日（木）～9 月 17 日（火）（20 日間）

参加学生：20 名（男子学生 8 名、女子学生 12 名）

引率者：夏目 真衣

出張期間：2024 年 8 月 29 日（木）～9 月 9 日（月）（12 日間）

2. 引率日程

- (1) 【8 月 29 日（木）～30 日（金）：同行 1～2 日目】出発、到着
- (2) 【8 月 31 日（土）：同行 3 日目】寮の説明会、スポーツ施設案内
- (3) 【9 月 1 日（日）：同行 4 日目】自由行動（ロンドンなど）
- (4) 【9 月 2 日（月）：同行 5 日目】インダクション、チチェスター市内の散策（カレッジ職員による案内）



留学生との交流の様子

- (5) 【9 月 3 日（火）：同行 6 日目】授業開始、フィッシュボーン宮殿跡地
カレッジ責任者とのミーティング（同行者）

【授業概要】

1 限 9:15～10:45（文法）／2 限 11:00～12:30（動詞）／3 限 13:30～15:00（コース別）

※通常、月曜日～金曜日授業。水曜日は3限以降なし

※A2/A1（初級クラス）～C1/C2（上級クラス）で構成されている。

●午前の部

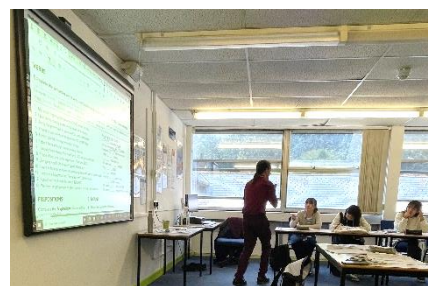
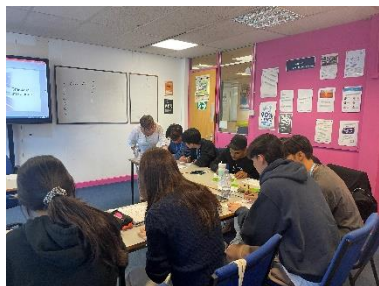
A2/A1 クラス 本学学生 3 名
A2/2 クラス 本学学生 1 名
A2/1 クラス 本学学生 7 名
B1/3 クラス 本学学生 5 名
B1/1 クラス 本学学生 4 名

●午後の部

English Extra3 クラス 本学学生 4 名
English Extra2 クラス 本学学生 6 名
English Extra1 クラス 本学学生 3 名
Business English&TOEIC1 クラス 本学学生 2 名
Academic English&IELTS クラス 本学学生 2 名
High level Skills2 クラス 本学学生 3 名

※基本的には午前のクラスを加味し、クラス分けされるが、レベル内でのコースの変更は可能。

上のコースに変更することは難しい。なお、本学の学生は3名が変更した。



授業の様子

(6) 【9月4日（水）：同行7日目】アランデル城（トリップ①）



アランデル城での様子

(7) 【9月5日（木）：同行8日目】午前授業（初級・初中級）見学・カラオケイベント

(8) 【9月6日（金）：同行9日目】ロッククライミング

(9) 【9月7日（土）：同行10日目】ロンドンへの日帰り旅行（トリップ②）

バッキンガム宮殿、ウェストミンスター寺院、ビッグベン、大英博物館（自由行動3時間程度）

(10) 【9月8日（日）同行11日目】自由行動（ロンドン、セブン・シスターズ、ブライトンなど）

3. 引率者所見、改善点

(1) 2024 年度の改善点（国際交流課夏目の所見）

改善すべき点（2023 年度）	改善状況（2024 年度）
午後のアクティビティの実施状況	今年度については、全てのアクティビティが実施された。
留学生と交流をできる機会はあったが、イギリス人学生と交流機会を増やした方が良い。	少し改善された。今年は 9 月 9 日に Fun and Icebreaking Activities with British Students が開催され、イギリス人学生も含め 4 つのグループに分かれて、ミニゲームを行った様子。ゲームが終了するごとに組み合わせを変えたようで満遍なく交流できた様子である。
講義内容	午前については、文法などの授業がメインのため講義形式のクラスも多いが、午後については自分の希望するコースを選択することも可能なため、満足している学生が多いようだった。

(2) 2024 年度の引率者所見

- ① 留学生と交流をできる機会はあったが、イギリス人学生と交流機会を増やした方が良い。2 学期開始の時期は長期留学の学生も多く、繁忙のため Stephenさんから 9 月の終わりに来るのが良いとの話があったが、学事暦の関係で難しいとお伝えした。カラオケイベントもほとんどがアジア人の学生だったので、なかなかイギリス人学生を募集するのは難しいかもしれないが、引き続き募集していただきたい。イギリスの文化やスポーツ（例：クリケット等）のクラブの見学でも良い。
- ② 月曜日の Induction で Wi-Fi の設定等を行ったが、一部の学生が火曜日に未設定の学生のクラスで再度同じ説明を聞くことになり、午前の時間を無駄にしたという話があった。次年度は、そのようなトラブルが起きないように伝える必要がある。
- ③ 今年度は、午後のアクティビティは充実していたように感じた。毎日 17:00 までの時間にアクティビティが組み込まれていたのも、学食でディナーを食べる時間も確保されていた。毎日何かしらのイベントが組み込まれていることで自分のイギリスでやりたかったことを叶えられているという学生が多かった。しかし、アンケートにも書かれていたが、一部の学生からは平日にフリーな時間があると嬉しいという声が聞こえた。チチェスターカレッジに通う学生のように生活してみたいという一定のニーズもあるようだ。ただし、現地学生との交流は今年度もあまり多くなかったため、現地の学生と交流させることは重要である。
- ④ 昨年は、主に Steve さんに研修に同行していただいたが、今年は主に Mao さんと Matthew さんに同行していただいた。特に Mao さんはチチェスターカレッジの学生カウンセラーで在職 2 年目の日本人スタッフであり、様々なことによくご対応いただいたように思う。
- ⑤ ミールクーポンのエラーが多く、上手く反応しない。使用していないにも関わらず残高がないと言われて使用できないというトラブルがいくつかあった。また、ロンドントリップ用のラン

チパックが用意されていなかった。Mao さんに確認したところ、今年から食堂の運営体制が変更となり、スタッフ間での連携が取れていなかったためである。夏目が学生より早めに食堂で確認したため、Mao さんが迅速に対応し、学生は混乱せずに翌朝ランチパックを手に入れることができた。次年度は前日に確認することが望ましい。

- ⑥ 食堂の電子看板（メニュー）の画面切り換えが速いと気づき、なかなかアレルゲンを含む食品を確認できなかった。メニューを決まる際に写真を撮っている学生が多かった。（今年度は、アレルギーのある学生はいなかったが、アレルゲンを含む食品の確認は食堂係員に直接聞くのが良いと思われる）。

以上